



## 国内初！インド最大手環境産業企業が 日本法人を北九州市に設立！ ラムキーグループと連携協定締結

～市内環境関連企業の海外展開に追い風～

- ◆ インドで北九州市をモデルにリサイクル団地(エコタウン)の整備を目指す、インドの最大手環境産業企業ラムキーグループが同社初の日本法人を北九州市に設立しました。
- ◆ インドの環境産業企業が日本法人を設立するのは国内初であり、これを契機にインドでの環境国際ビジネスを推進するため、ラムキーグループおよび同社日本法人と包括的な連携協定を締結しました。
- ◆ 北九州市は、同グループと連携して、インドの廃棄物管理をはじめとした環境改善に取り組むとともに、市内環境関連企業の海外展開を支援します。

### 1 連携協定締結式

- (1) 日 時 令和5年9月29日(金)13:20～14:20
- (2) 場 所 小倉城庭園展示室 (住所:小倉北区内1-2)
- (3) 締結者 【ラムキーグループ】 ラムキー・インフラストラクチャー社 副社長ディバカール・マリリ・サステナビリティ社 副社長 サティヤナラヤナ・アダマラ  
日本法人 P9(ピーナイン)合同会社 代表 松野 小百合  
【北九州市】 北九州市長 武内 和久
- (4) 内 容 ① 出席者紹介(上記締結者 及び ラムキーグループ創業者 ラミ・レディ氏)  
② 北九州市説明 ③ ラムキーグループ説明 ④ 協定書署名(4通)  
⑤ 質疑応答 ⑥ 写真撮影

### 2 協定項目

- (1) インドの環境人材育成 → 現地ネットワーク構築、人材不足の市内企業支援
- (2) 市内企業とインド企業との連携 → 製品、技術、ノウハウの輸出、市内企業の海外進出支援
- (3) インドを対象とした環境プロジェクト形成 → 新たな環境ビジネスの創出
- (4) 市内企業や大学等との環境分野での共同研究 → 市内の学術研究機能の強化

### 3 本市に期待できる効果

今回のインド最大手環境産業企業の北九州市誘致成功は、国内企業のみならず、海外企業にとっても大きなインパクトがあります。

今回、新たに構築したインドとのネットワークにより、市内企業の海外展開を促進するとともに海外展開を希望する市外企業や海外企業の誘致にもつなげていきます。

### 4 企業概要

#### 【ラムキーグループ】

環境と経済の両立を図るプロジェクトの開発に注力し、都市開発等のインフラ整備部門と廃棄物処理等の環境産業部門におけるインドの主要企業の一つ。

ラムキーグループはインドでのリサイクル団地(エコタウン)の整備を目指しており、北九州市のエコタウンや海外展開の取組の紹介等を通じて、北九州市及び市内企業が持つ技術やノウハウを是非活用したいとの意向があり、北九州市への法人設立を決定。

\*ラムキー・インフラストラクチャー社【インフラ整備】

インド・ボンベイ証券取引所に上場するゼネコン

\*リ・サステナビリティ社【環境産業】

インドの産業廃棄物部門では最大手(インドの産業廃棄物処理量の約60%)

世界的な投資会社 KKR が出資

社名	ラムキーグループ
創業者	アヨディヤ・ラミ・レディ・アラ(インド上院議員) *連携協定締結式に同席
本社	インド・ハイデラバード市
設立	1994年4月
事業内容	インフラ整備:住宅、都市開発、道路、鉄道、工業団地整備・運営等 環境産業:廃棄物の収集運搬・処理施設建設・運営等 その他:製薬、コンサルティング等
事業拠点	インド、シンガポール、サウジアラビア、UAE、オマーン、米国等
売上高	グループ全体で13億米ドル(約1,800億円)
従業員数	グループ全体で約25,000人

#### 【P9(ピーナイン)合同会社】

ラムキーグループの日本法人として、本年9月 北九州市小倉北区に設立された会社。

同社は企業の海外展開支援(技術提携等)、海外の環境人材育成、環境関連技術の研究開発、環境事業等への投資、プロジェクト組成等のコンサルティング事業を進めていく予定。

社名	P9(ピーナイン)合同会社
代表者	松野 小百合
本社	北九州市小倉北区(COMPASS 小倉)
設立	2023年9月
資本金	1,500万円
事業内容	企業の海外展開支援(技術提携等)、海外の環境人材育成、人材派遣、プロジェクト組成等コンサルティング、環境関連技術の研究開発、環境事業等への投資

【問合せ先】環境局環境国際戦略課

担当課長:火箱、担当係長:勝原 TEL:093-662-4020